

なかつか 亮



12月3日朝 集中豪雨 被害相次ぐ

区内 床上15カ所、床下17カ所、事業所29カ所

12月3日朝8時前後、集中豪雨による水害が区内各地で相次ぎました。降雨量は瞬間150ミリ(一時間換算)。雨水が道路に川のように流れる状態に。被害にあった方は「早朝だったので土のうも準備できず、気がついた時は玄関から水が入ってきた」「軽トラックが水につかり、使えなくなつた」と話します。私は現地を確認し、品川区に被害を報告し、対策実施を求めました。

区内被害 61箇所

今回は都市型水害の典型です。区内の被害状況は計61箇所。被害の特徴は住宅地における谷間となる地域。雨水が道路をつたって、一部の下水道管に集中。許容量を超え、雨水・下水が溢れだしました。都市部の『弱さ』の特徴です。西大井5丁目では床上浸水50センチ、大井6丁目では半地下駐車場で80センチの浸水もありました。いっぽうで立会川・目黒川周辺では、主だつ

た被害はありません。貯留管設置などの水害対策の効果だと推測されます。

豪雨対策強化を

そもそも現状の水害対策は雨量50ミリ対応が基本で、区内整備率も6割ほどです。雨量50ミリ対応を超える集中豪雨対策の抜本強化が急がれます。

私は「対策を強化しグレーチング設置(下記参照)や下水道管の改善、雨水調整池の設置など緊急な対応を」と区に要望。区は「被

害状況を分析し対策を考えます。東京都にも必要な対応を求めます」と説明しました。

私は対策強化に向け、被害状況を把握したいと思つています。今回に限らず水害が発生した時(床上、床下、道路、店舗など)、ご遠慮なくご連絡下さい。

なかつか 亮



※写真：グレーチング

大井3～5丁目 歩道が路面改良 ーバリアフリー化へー

完成は「おおむね3年以内」

ご近所の方や通行する方から「何とかしてほしい」と相談があった歩道のデコボコが改善される事になりました。場所は大井5丁目の滝王子交差点から大井3丁目に向けた歩道。住宅建設にあわせ歩道がデコボコし、高齢者からは「シルバーカーが押しづらい。あるきにくい」、車椅子の方は「歩道は走れず、車道を通っている」との声が寄せられていました。さっそく品川区に歩道改善を要望。このほど路面改良の工事が実施されることになりました。

区は「おおむね3年以内に施工予定です。路線が長いので二つに分けて行うかもしれません。道路に面している方には、区がご自宅に伺って、車の出入りや車道に出る傾斜などの調整を行います」との回答がありました。街のバリアフリーが一步前進です。

工事工法は、まだ解かりませんが、工事後は伊藤学園周辺のよう、歩道が平らになります。
もちろん、自宅駐車場からの車の出入りは可能です。



旧JR山中
アパート

なかつか亮
事務所

セブンイレブン

滝王子交差点

この■が路線が対象地域です

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

12月17日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室**5742-6818** 夜：事務所**3773-3231**